

め ぼ 芽 生 え



編集発行: 宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号 宝塚市教育委員会 学校教育課 TEL:0797-77-2040 FAX:0797-71-1891

お友だち 大好き おとなもほっこり



キュー
したいの

遊んでいるとき…

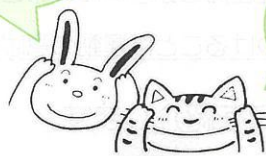
すきな

おはよう!

〇〇ちゃん
きょうも
げんきモリモリ!



(1歳児)

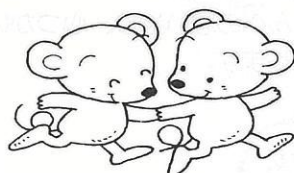


(2歳児)

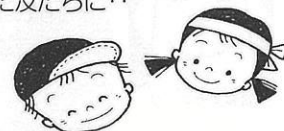
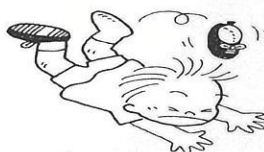
新しく入所してきた友だちが、
泣かずに遊んでいる姿を見て、

だいふ、
なれてきたやん!

リレーの練習で転んでしまった友だちに…



(3歳児)



「がんばって はしるから
だいじょうぶやで!!」



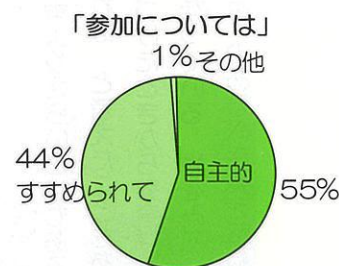
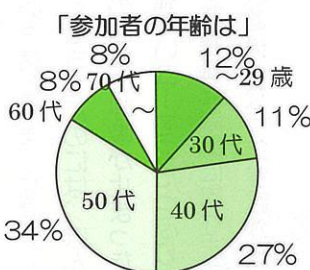
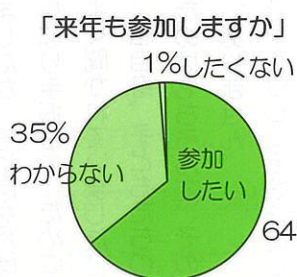
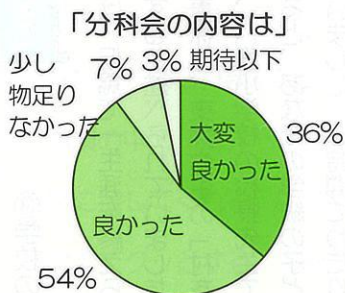
(5歳児)

2010年度・2011年度
こどものつばやき集(米谷保育所)から

人権交流学びのつどい

202名が参加 来年また会いましょう

1月21日小雨降る中、私たち宝同協の長年の夢であった研究大会『人権交流学びのつどい』が、宝塚市立教育総合センターで開催されました。予定をはるかに超える参加者でした。全体開場に入れなかった方々がおられ、申し訳ない思いで始まったオープニングでは『熱光』の皆さんによる人権太鼓に魂を震わせられ、5つの分科会では熱の入った討論が行われました。参加者のアンケート結果を一部ですがご紹介します。



「参加の目的は」

学習	60%	情報	28%	話し合い	6%	その他	6%
----	-----	----	-----	------	----	-----	----

「発言の回数は」

0回	60%	1回	20%	2回	12%	3回以上	8%
----	-----	----	-----	----	-----	------	----

知っとう!!
このマーク 2

みんなの理解と協力が広がりますように!

☆各色で表す「リボン マーク」を紹介します。



【レッド】 エイズ患者を差別しない。共に生き、応援していく意志を表すリボン運動の先駆けです。

【ピンク】 乳がん患者を理解・支援すると共に「乳がん検診」の大切さを訴えます。

【オレンジ】 「子どもの虐待防止」の情報と「気持ちを分かり合うこと」のシンボルです。

【グリーン】 移植医療普及のためのシンボル。臓器移植への理解や尊重・敬意を表します。

【ブルー】 「北朝鮮による拉致被害者の生存と救出を信じて!!」への意思表示です。

【パープル】 女性に対する暴力 (DV) 根絶運動のシンボルマークです。

【イエロー】 障がいのある人の自立と幸せを願うシンボルとして使用。

【ホワイト】 世界中の妊産婦と赤ちゃんの命と健康を守る国際協力運動。

★リボン・マークをつけることは運動の意思表示となります。あなたも参加してはいかがでしょうか。

☆「共遊玩具」マークを紹介します。



盲導犬のマーク

視覚に障がいのある子ども達と一緒に楽しめるおもちゃの表示は「盲導犬マーク」です。



うさぎのマーク

聴覚に障がいのある子ども達と一緒に楽しめるおもちゃの表示は「うさぎマーク」です。

☆「マタニティー マーク」を紹介します。



おなかに赤ちゃんがいることを表しています。
妊産婦さんへの思いやり、心づかいをお願いします。



連載 夢と希望はいつか

◎学校の先生

教育界で著名な森信三さんは、但馬で一生を終えられた東井義雄さんのことを、まさに「国宝」に値すると述べていました。そんなことはつゆほど知らず、教職一年目の夏休み、東井先生の「村を育てる学力」という本を読んで少なからず感動し、八鹿小学校の校長先生でした先生にお会いしたいと電話を入れました。すると、あなたの学級の子どもたちにぜひ出会いたい、即刻承知してくださいました。2時間にわたる5年生の子どもたちに楽しい授業をしてくださいましたが、それはそれは、すごいものでした。穏やかな声と優しさあふれる身ぶり手振りで、ためになる話や楽しい出来事を話され、一人ひとりの声をよく聞かれました。子どもたちの瞳はいつもと違い輝きっぱなしでした。私自身、子どもたちの前に立つ教師はこれではなくては強烈な刺激を受けたのもちろんで、その後の子どもたちへの接し方が変わったのは言うまでもありません。

お別れの時、子どもたちは花束を渡して名残を惜しんだものです。2学期が始まったころ、子どもたちの返信として先生からお便りが来ました。その中に、学級一人ひとりへの褒め言葉と励ましを書いてくださったうえ、さらに続け「・・・帰りに花束をくださったのは、ほんとに、ほんとに感激しました。この次、花をもらうのは私の呼吸が止まったときだろうなと思えます。」など書いてこられる温かいユーモアたっぷりの先生でした。

先日、豊岡の出石近くの東井義雄記念館に車を走らせました。45年振りの再会、館内には東井さんの遺稿となった実践がたくさん残されています。

「Oは大きく、Xは小さく」

「一番はえらい でも 一番よりえらいよりもある」

「この子やえいといえなければ」と考えたこともある子どもを この子がいつかおかげで と位置つけたときから教育は始まる

「すべてのこどもは光をはなっている 光をみてやろう 応えてやろう」
久しぶりに心が和み、「先生」のあるべき姿を感じとらせていただきたながら帰ってきました。

(和久)

だいすき!といえる街に・・・「だいすき宝塚」

宝塚商工会議所では、この宝塚に“住み”“学び”“働く”人々、そして“訪れる”人々が「だいすき」といえる街・宝塚をめざして「だいすき宝塚」を提唱し事業を推進しています。みなさんの身近なところでは、昨秋のワンコイン de スタンプラリーやレジ袋削減のための取り組みなどを行っており、会員事業所の皆さんも、防災時の市との協定やAEDの設置、「トライやる・ウィーク」の受け入れ、アトム110番への協力なども行っています。

宝塚では、商工業者に限らず色々な方々が街を想い、人を想いながらそれぞれ自分のできることをしていらっしゃいます。皆さんと、この「だいすき宝塚」という言葉を共有できれば、もっともっと輪が広がり、つながりができお互いのめざすものがカタチになると考えています。

〈プレゼント応募はがきより（抜粋）〉

- ①（母）シール、子どもと一緒に集めて楽しかったですよ！！
- ②（9歳）子ども向けのワンコインの商品をもっと増やしてほしいです。おばあちゃんから500円をもらって、たこ焼き、唐揚げセットを買いました。おいしかったです。
- ③（15歳）親といっしょに出かけることがだんだん少なくなっていたけど、シールが欲しいと母に頼まれ一緒に行った。でもけっこう良かった。



ロゴマーク



パンフレット



だいすき宝塚 のぼり

心のバリアフリー

南ひばりガ丘中学校では、保護者とともに人権を考えていく機会として、毎年11月に「人権同和参観」を行い、道徳の授業参観と、また参観授業の後には、PTAと学校とが共催し「人権教育講演会」を行っています。

人権教育講演会では、先天性の視覚障がい、高校講師でソプラノ歌手でもある北村多恵さんをお招きして「音楽が教えてくれたこと、音楽が広げてくれた世界」と題して講演していただきました。視覚障がいがありながら、地域の学校で学ぶ中で得た経験、人とのつながりの大切さ、常にポジティブに生活している様子を明るく伝えてもらいました。最後の「ミニコンサート」では、星野富弘さんの詩、金子みすゞさんの詩を透き通るような歌声で披露していただき、感動して涙を流した参加者もおられました。

講演の中で「海外へ行っても苦労はありません、外国の方は自然に接してくれる。でも日本人は無言で手を差し出してくれるのでビックとする。『障がい者』と構えてしまわず、もっと垣根をとって、コミュニケーションを増やしていくことが大切。」と述べられました。点字ブロックなどのバリアフリーのハード面では、日本は海外に比べて進んでいるようですが、心のバリアフリーはまだまだ考えていく余地があると感じました。



北村 多恵さん

2011(平成23)年度人権・同和問題啓発作品入賞者

■人権啓発作文の部 最優秀賞

- 『きぼうの家』 西田 安摩子さん(西谷小学校3年)
- 『家族がいるから』 森吉 柊一朗さん(すみれが丘小学校4年)
- 『お互いの存在を認め合おう』 今後 大輝さん(宝塚中学校2年)

■人権啓発標語の部 最優秀賞

- 『なりたいな ひとのこころを つなぐひと』 片山 奈々さん(西谷小学校2年)
- 『うわさより 事実を見つめる 正しい目』 西山 和希さん(良元小学校5年)
- 『ありがとう 心に花咲く 愛言葉』 諸澤 七海さん(宝梅中学校2年)
- 『どうしたの? みんなが言える 町づくり』 川島 政明さん(宝塚市民)

■人権啓発ポスターの部 最優秀賞



谷原 希南さん (安倉北小学校3年)



石橋 亮さん (中山五月台中学校2年)



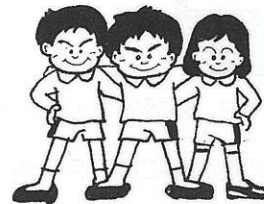
梶 茉莉子さん (長尾小学校6年)

優秀賞・佳作入賞者は宝塚市のホームページでご覧いただけます。

学ぶ・スポーツ 教育または人権・平和



宝塚市人権・同和問題啓発 入選作品



お知らせ

多数の参加をお待ちしています!

- 人権映画会 3/23(金) 13時30分(開場13時)ソリオホール
- 「毎日かあさん」(主演:小泉今日子 字幕あり)
- 問合せ:人権男女共同参画課 TEL:77-9100
- 先着30名 入場無料
- 二〇二二(平成二四)年度
- 宝同協定期総会 5/22(火) 13時30分 ソリオホール
- 阪同教研究大会 7/28(土) 川西市
- 兵人教研究大会 9/29(土) 30(日) 赤穂郡上郡町
- 全同教研究大会 12/1(土) 2(日) 岡山県倉敷市

お詫びと訂正

宝同協だより「芽生え」第2号(4ページ)で誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、内容を訂正いたします。

2010(平成22)年度人権・同和問題啓発作品入賞者

■人権啓発作文の部 最優秀賞

- 誤:『わたしの妹』 池田 鈴惟さん(宝塚小学校3年)
- 正:『わたしの弟』 池田 鈴惟さん(宝塚小学校3年)

編集後記

第3号は、心がほっこりとする「こどものつづやき集」を巻頭に載せました。また、商工会議所や中学校からも取組みを寄稿していただきました。人権・同和問題啓発作品集では、多数の応募をいただき感謝しています。ぜひホームページもご覧ください。

おかげさまで、今年度は「芽生え」を2回発行することができました。今後とも、より充実した宝同協だよりとなるよう、みなさまからの寄稿をお待ちしています。

(朝倉・池澤・梅田・大塚・坂本・竹内・津国・長瀬・中原)